



8月9日・10日に行われた県民体育大会での山川さん



全日本軟式野球連盟青森県十和田支部 審判員  
青森県高等学校野球連盟付属審判員

# パイナビジャー

やま かわ ただし  
**山川 正さん(81歳)**

山川さんは現在、県内最高齢の野球審判員です。  
小学生から社会人の野球審判員として携わり、年間約60試合に出場しています。  
そんな山川さんにお話を伺いました。

## 野球の審判員を

### はじめたきっかけは？

福島県出身ですが、旅行で奥入瀬溪流を訪れ、自然の美しさに魅せられて十和田市に移り住みました。就職先の自動車学校で朝野球チームを作り、審判員を交代でやったことがきっかけです。そして「十和田でいろいろお世話になった恩返しに」と43歳のときに全日本軟式野球連盟の

公認審判員になりました。

### 健康の秘訣は何ですか？

毎日朝夕に1時間以上かけて、ジョギングと散歩を欠かさずしています。酒やたばこは飲まないし、外食もほとんどしません。毎日運動をして、好きな野球の審判員を続けることが健康の秘訣といえるかもしれません。

### 的確なジャッジをするために気をつけていることは？

審判員が足りないときは、2試合連続でグラウンドに立つこともあり。常に集中力を切らさず、ボールから目を離さないように、真正面で見、臨機応変に動くように心掛けています。

試合前の審判員のミーティングでは、お互いに信頼してカバーしているという声を掛け合い、試合後にはジャッジする位置の確認などをしています。審判員それぞれの責任が審判員全員の責任でもあることを肝に銘じて頑張っています。

### これからの目標は？

わたしの周りには、選手も審判員もみんな若いばかりです。おかげで気持ちもいつまでも若くいられます。

十和田に来て、はや55年。野球を通してたくさんの人と出会い、たくさんのおいしいことを教わりました。そして出会った人の温かい心に感謝し、これからも人との出会いを大切に



平成17年5月に東北町で行われた北東北大学野球大会(1部リーグ)では審判員を務めました

にしていきたいと思います。

わたしは若いときから陸上、野球とスポーツをしてきました。子どもにはスポーツを通して、たくましく育ってほしいと思っています。子どもの数が少なくなり、野球に限らずスポーツをする人が増えてほしいと願っています。

今の目標は少しでも長く審判員を続けること。まずは今年1年。シーズンが終わってもトレーニングを続け来年に備え、1年、また1年とできるところまで続けていきたいです。

### 問い合わせ先

総務課広報男女参画係

☎0176-235111内線156